

1 学校教育目標（知）

自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。

2 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会において、広い視野に立ち、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

4 評価の仕方

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○定期テスト 定期テストの中に、知識を問う問題を出題し、知識の定着度及び知識の深まりを評価します。</p> <p>○小テスト 授業中の小テストで知識の定着度を評価します。</p> <p>○授業課題 さまざまな情報を収集し、資料を読み取り、まとめる技能を身に付けているか評価します。ノート、プリントなどによって評価します。</p>	<p>○定期テスト 定期テストの中に、思考力を必要とする問題を出題し、評価します。</p> <p>○まとめ課題 授業等で与えられた課題に、知識をもとに自分の考えが記述されているか、思考の深まりがあるかを評価します。</p> <p>○授業での取り組み 話し合い活動等によって多面的多角的に考察し、自分なりに事象を解釈し意見をまとめているか評価します。</p>	<p>○学習への取り組み 授業において「知識・技能」「思考・判断・表現」の資質・能力を身に付ける際の取り組み、またそれら活動の振り返りなどを評価します。また、その際に自ら課題を設定し、その達成に向けて粘り強く学習に取り組む姿勢を評価します。</p> <p>○日常生活との結びつき 日常生活の中に社会的問題を見出そうとすること、また、学習内容を日常生活に活用しようとする意識を、授業内の発言や振り返り等で評価します。また、定期テストの中に、社会の動向や日常生活の中に存在する社会的事象に関する問題を出題し、それらに対する興味や関心を評価する場合があります。</p>

※ 3つの観点には軽重がありません。観点別評価の換算値で評定を算出します。

※ それぞれの観点の中の評価方法には軽重があります。